

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人エルム福祉会smile		
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 20日		～ 令和7年 1月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 20日		～ 令和7年 1月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 15
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 7日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	当法人の価値観の中に於いて、特に力を入れている。 「挨拶・笑顔・ありがとう」の実践。	来客への明るい挨拶。 利用者ひとりひとりへの笑顔で「おかえりなさい」等の挨拶の取り組み。	全員が1日に1回以上利用者に対して行うことによって、ホスピタリティの向上を図る。
2	4つのスローガンのひとつ、施設の透明性	常に施設内見学や保護者の出入りは開放されており、療育場面への見学参加も行っている。また、保護者が自由に話し合える場の提供を行っている。	保護者との信頼関係を築き、話しやすい居場所を提供する。
3	季節感のある施設内装飾(表示等の工夫)。	皆様に行事や季節感を知ってもらうために、利用者の作品やその季節の装飾をろう下や玄関に提示して楽しんでもらっている。	行事で取り組みのできていないこともあるので、創作活動等を活用して装飾できるよう努力していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	中高生担当に男性職員(同性介助)が配置されていない。	同性介助となっているなか、利用者は8割が男子、現在、重身の介助は各チームの男性職員に依頼しているか、不在の時の対応が課題	男性職員の配置が一番である。 異性利用者の時間には部門間連携で必ずサポートに入る仕組みを計画する
2	各会議に対する時間の確保	利用者の送迎等から難しく、利用者の不在は、木・金(13:30～14:00)の1時間のため、打ち合わせに時間を取ってしまうと会議が短くなったりできないことがある。	月～木の送迎を他チームに依頼することによって、月～金1時間の時間が確保される。会議の進め方を効率よく進めていけるように事前に資料配布をする。
3	年齢や障がい特性に合わせてのスペースの使い方	様々な特性のある利用者が同じ部屋で過ごしているため、合理的配慮としてパーティションや小部屋を活用していますが、急な個別対応が必要な場合が発生した時の対応としての部屋が不足している。	障がい程度や特性に合わせて部屋を分けた場合の人員の配置と、障がい特性に合わせて環境改変を行う